

気品の岸・美の学園

— 希望の登校、満足の下校 —

校長 山浦 麻紀



ソメイヨシノ

花言葉・・「精神の美」

三寒四温の繰り返しの中で、そこここに咲く花の彩りや穏やかな風の柔らかさに、春の息吹が感じられるようになりました。正門のソメイヨシノも実に美しく咲き誇っております。そして、その周りで元気いっぱい挨拶を交わし合う子どもたちの姿は、まさにソメイヨシノの花言葉「精神の美」そのものだと感じております。

保護者の皆様、地域の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げますとともに、日頃より本校教育の充実・進展のために御支援、御協力を賜りますことに厚く御礼申し上げます。

本日、入学式を挙げていたしました。新入学生204名を迎え、生徒613名、教職員55名で令和6年度をスタートいたします。昨年度と同様、職員一同、力を合わせて子どもたちの「希望の登校、満足の下校」ための教育活動に邁進してまいります。

さて、「脱コロナ その先へ」の令和6年度、ますます **well-being** (ウェルビーイング) 生活をどうデザインしていくか。学校は、**Society 5.0**時代の社会の中を、心豊かにたくましく生き続ける子どもを育成することが大切であると考えます。

心豊かにたくましく生き続ける子とは、一人ひとりが**個を確立**し、**公の発展**に尽くすことのできる人間です。

個を確立するとは、「自分で課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する最適解を見つける能力」「豊かな人間性」「健康な心と体」を持った人間を意味します。**公の発展とは**、互いに助け合い、力を合わせて、社会をよりよく発展させていく意欲に燃えた人間を意味します。

そこで、今年度の教育目標も、「真理・感性・実践」と致しました。そして、次のような生徒の育成を目指してまいりたいと考えております。

- 真理とは : 意欲的に学び、深く考える生徒になろう。
夢を持ち、努力する生徒になろう。
- 感性とは : 得て不得手を認め合い、温かい心を持つ生徒になろう。
広い視野から、さまざまなよさを発見する生徒になろう。
- 実践とは : 健康で逞しい生徒になろう。
最適解を見出す判断をし、主体的に行動する生徒になろう。

また、子ども達の教育は、学校という場所でのみ、なし得るものではありません。学校、家庭、地域が一体となって子ども達の教育にあたることが不可欠です。本校の教育活動推進にあたり、保護者の皆様、地域の皆様には、今後とも折りにふれ忌憚のない御意見と、御理解、御協力を賜りたく重ねてお願い申し上げます。